

会 議 録

会議の名称		平成28年度 第1回 守谷市社会教育委員の会議		
開催日時		平成28年5月27日（金） 開会：10時00分 閉会：11時30分		
開催場所		守谷中央図書館 集会室1		
事務局（担当課）		教育委員会 生涯学習課		
出席者	委 員	仁田議長，仁平副議長，霜多委員，堀込委員，高橋委員， 櫻井委員，持田（憲）委員，槇野委員，吉村委員，西委員， 持田（正）委員，川崎（国）委員，川崎（勝）委員，直井委員， 中村委員 計15名		
	その他			
	市職員	飯塚教育部次長兼生涯学習課長，福島課長補佐 計2名		
公開・非公開 の状況		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	0人
公開不可の場合 はその理由				
会 議 次 第		1 開会 2 挨拶 3 委嘱状交付 4 委員紹介 5 協議事項 （1）議長・副議長の選出について （2）図書館協議会委員の選出について 6 報告事項 （1）平成28年度の主な事業及び予算について （2）平成28年度のスケジュールについて 7 閉会		
確定年月日		会議録署名		
平成28年6月1日		議 長 仁 田 栄		

審 議 経 過

1 開会

会議の公開、会議録への発言者の氏名記載について、委員全員の承認を得た。

2 挨拶

飯塚教育部次長

3 委嘱状交付

4 委員紹介

5 協議事項

(1) 議長・副議長の選出について

議長に、仁田 栄委員，副議長に、仁平 興委員が選出されました。

(2) 図書館協議会委員の選出について

堀込 安子委員が選出されました。

6 報告事項

(1) 平成28年度の主な事業及び予算について

事務局から社会教育，社会体育関係等の平成28年度における主な事業と予算について説明

仁田議長： 皆様から御意見，ご質問等をお願いします。

川崎（勝）委員： 放課後子ども総合プラン事業の予算内訳ですが，国県補助，市の一般財源のほかに「その他」とありますが，どのような財源なのか。

事務局： 保護者からの負担金です。放課後児童クラブは「保育料」，放課後子ども教室は「参加費」として負担していただいています。

川崎（勝）委員： 先ほどの説明で，守谷ハーフマラソンに係る事業費が約2，800万円とありましたが，市からの補助は200万円程度で，残りはその他の収入で賄っていると思うのですが，全て参加費ということになりますか。

事務局： 大人4，000円，中学生以下2，000円の参加費を申込時に負担していただいています。また，例年，企業等からの協賛金約150万円収入があるため，それらで賄っている状況です。

川崎（勝）委員： 放課後子ども総合プランは大変良い事業だと思います。全児童対象ということなので伺いますが，不登校のお子さんや特別支援教室のお子さんの参加はどのようになっていますか。

事務局： 不登校のお子さんは学校に登校していないため、参加していただけない状況にあると思います。特別支援教室のお子さんには参加していただいています。必要に応じて、複数の指導員を配置するなど、できるだけ、学校生活に近い体制を取りたいと考えています。

川崎（勝）委員： 今までに、そういった対策を取ったことはありますか。

事務局： 昨年度の年度途中で指導員を増員しました。運営を民間委託しているため、委託料の増額補正をしました。

不登校のお子さんについてですが、今年4月にもりや学びの里内に「守谷市総合教育支援センター」を開所しました。専門の相談員が、お子さんや親御さんの相談に応じ、お子さんの成長をサポートしたり、学校につながる役割を担っているため活用してほしいと思っています。

川崎（勝）委員： 黒内小学校児童クラブの建設予算が大きいと感じます。御所ヶ丘小学校の児童クラブの建築費はプレハブで、確か2,000万円程度だったと記憶していますが、なぜこのような違いがあるのですか。

事務局： 黒内小学校児童クラブの専用室は木造になります。また、費用が大きいのは、建設地の地盤が良くないことがわかり、かなりの本数の杭を入れなければならなくなったためです。昨年度、設計の段階で何度も協議をし、いちばん安全で安価なプランを採用しました。

槇野委員： 関連して聞きますが、建物を建てるだけですか。囲いをするなどの安全対策はしないのでしょうか。中央公民館の敷地内なので、子どもの飛び出しなどが大変心配です。入口となると思われる場所にある10台分の駐車スペースはなくすのですか。

事務局： 駐車場はできるだけなくさない方向ですが、入口の関係もあるため検討が必要になります。

フェンスを設けるなどの詳細もまだ決まっていますが、隣接地に保育所、公民館、さらに児童クラブとなれば、子どもの安全対策は必要と考えています。一昨日も、駐車場で自動車と自転車が接触しそうになったとの情報が入ったため、館長と相談して、駐車場内は「徐行」するように公民館利用者や保育所保護者に、看板設置やお便りなどの方法で周知したところでした。

持田（憲）委員： 当然のことながら、学校と公民館を交えて協議を行っていくでしょう。この場でどうこうという話ではないと思います。恒久的な施設であるため、近隣への周知も必要だと思います。

川崎（勝）委員： 十分に検討を重ねた結果だとは思いますが、場所が適当かという疑問があります。

事務局： 本来ならば学校敷地内に建設するところですが、候補地には地下に水道設備が埋設されている可能性があったり、校舎増築スペースを確保しておく必要があったりして十分なスペースが確保できないため、学校外に建設

することになりました。

仁平副議長： 建設予定地は、現在、ペタンク場が2面取れていますが、どのようになりますか。シニアクラブの活動ができなくなってしまうのでしょうか。

事務局： ペタンク場は現在のままにして建設します。建設期間中は、工事の状況に応じてお休みしていただく期間もあると思いますが、開所後は、通常どおり活動していただけるようになります。

夏休みなど、シニアクラブの皆さんの活動時間と開所時間が重なるときは、子ども達にもペタンクを体験させていただいて、交流を図る機会が持てれば良いと考えています。そのときは御協力をお願いします。

川崎（勝）委員： 家庭教育推進事業ですが、やっても無駄なのではないかと思っています。以前参加したことがあります。PTAで動員がかかって平日に行きました。仕事をしていたら平日では行かない人が多いと思います。

事務局： 委員が参加されたのは何年くらい前ですか。

川崎（勝）委員： 6年くらい前だと思います。

事務局： その頃と今とは違います。確かに平日の日程では来られない保護者が多いと思いますが、現在は、平日の講座に加えて、休日にも設定しています。また、市内の小中学校だけではなく、保育園、幼稚園の保護者にも参加していただけるよう周知もしています。

つい先日も講座を開催したばかりですが、平日にもかかわらず動員をかけなくても70名から申し込みがあり、当日参加も5名くらいありました。子どものやる気スイッチをどう入れるか、親としての心構えについての講座でした。アンケートの結果も良好でした。

川崎（勝）委員： 改善されているのですね。

スポーツ・文化振興奨励事業も大きな予算ですが、奨励金と記念品だけで160万円にもなるのですか。

事務局： 奨励金は、全国大会出場1万円、アジア大会出場3万円、世界大会出場5万円の規定で交付しています。広報の紙面を見ていただくと分かりますが、毎月のように全国大会等出場者が掲載されています。3年前に予算を100万円に削減したところ、結局、年度途中で不足し、補助金審議会に諮った後、増額補正をした経緯があります。年度ごとに増減はありますが、当初予算では必要な金額です。

川崎（勝）委員： 活躍する市民がたくさんいるということですね。

仁平副議長： 自然観察会事業は予算を使わずに行っているとの説明でしたが、「野鳥の森散策路」にも支出がないのですか。

事務局： 「野鳥の森散策路」は、市観光協会が整備したものです。補助金等を充てているのかもしれませんが。愛宕中学校、守谷小学校の児童生徒が整備に協力して完成したものです。

今後、観光協会に相談しなければなりません、茨城県で選定している「子どもいきいき自然体験フィールド100選」に、守谷市とつくばみらい市だけ選定された場所がありません。この散策路を選定してもらえないかと考えています。

高橋委員： 大勢の人が一斉に訪れると木道が耐えられるかどうかという心配があります。しかし、観光協会のメンバーが時間をかけて整備した素晴らしいコースなので、多くの人に知ってほしいと思います。市内の開発が進む中、自然を残そう、守ろうということで整備が始まりました。また、小中学校の子ども達の参加も大変ありがたかったと聞いています。中学生が意見を出し合い、大人に提案することもあったようです。

川崎（勝）委員： 文化財保護事業では、維持管理のほかに発掘などもあるのですか。

事務局： 建築物を建てる時など開発に伴って、遺跡が埋まっている可能性がある「包蔵地」の試掘調査を行っています。試掘調査の費用は市が負担します。また、史跡の草刈や天然記念物の管理などもあります。

川崎（勝）委員： 国民体育大会開催事業ですが、1,000万円もの金額をどのようなことで使うのですか。

事務局： 国民体育大会開催時にかかる費用を先催地の例を基に試算したところ、約2億円かかることがわかりました。その費用を開催年だけで支出するのが困難なため、平成25年度から常総市、坂東市、守谷市が同額の積立をしています。平成25、26年度100万円ずつ、27年度300万円、28年度1,000万円、29年度1,500万円、30年度2,200万円、31年度1,500万円、計6,700万円ずつ負担することになります。

平成30年にリハーサル大会、平成31年が本大会ですが、競技備品の購入や設備の増設などに大きな費用がかかると思われます。

川崎（勝）委員： 今年度だけの予算でないことがわかったので納得しました。

中村委員： 学校体育施設開放事業ですが、学校と利用者との話し合いの場を設けていただけないでしょうか。施設の使い方や退館時刻が守られていないなどの問題点があります。

事務局： 年2回利用団体の代表者会議があるので、夜間の会議になりますが、学校側にも入っていただくか、もしくは事前にご意見を伺っておくなどの対応をしたいと思いますうでしょうか。

中村委員： 取手市の例ですが、昼間、代表者に学校に集まってもらっていました。教頭が学校側の窓口になって、話し合いができれば良いと思います。

持田（正）委員： 以前、放課後子ども総合プランを見ていた頃の話ですが、スポーツ少年団活動の午後5時開始と、子ども教室終了の午後5時が重なることから、体育館付近が混雑する中、スポーツ少年団が道具運搬のために体育館入口に車を乗り入れるため、危険な事態と

なり、スポーツ少年団代表者と話し合ったことがありました。話し合いは3日間かかりましたが理解していただきました。子ども達の安全が第一であり、何より、学校に支障のない範囲で利用してもらうことが基本だと思います。

仁田議長： 以前にも退館時刻が守れず、午後10時を過ぎても電気が点いていたことがあったため、スポーツ推進委員が夜間開放時に抜打ちで巡回したことがありました。改善されたようだったので、今は巡回していません。

施設使用料についてですが、1時間100円や150円の金額をいただいても電気代分くらいで、備品や設備の修繕、ネットなどの購入にまで回らないと思います。そろそろ使用料の再考が必要な時期なのではないでしょうか。諮問があれば話し合いたいと思います。

川崎（国）委員： 補助金交付事業と特記されている事業については、何か区別されているのですか。

事務局： 補助金交付団体が分かるように記載しました。これらの団体とは、協働で事業を行っています。ただし、補助金を交付するには補助金審議会の審査があり、団体側からすると十分な金額でないのかもしれませんが。

川崎（勝）委員： 体育協会の位置付けはどのようになっているのですか。法律等で謳われているのでしょうか。

事務局： 日本体育協会、茨城県体育協会が上部団体です。自治体によっては、財団法人にしているところもありますが、守谷市体育協会は任意団体です。関連する法は「スポーツ基本法」になります。

川崎（勝）委員： PTA連絡協議会支援事業の予算15万4千円のうち、補助金は6万円ですが、あとは何の経費なのですか。

事務局： 親睦球技大会のソフトボール、バレーボールそれぞれの審判員謝金と審判員の昼食代を計上しています。

川崎（勝）委員： スポーツ少年団補助事業の予算と補助金の差額は、大会等の遠征費ということですか。

事務局： 県大会以上の大会出場時に段階に応じて半額、全額の区別はありますが、遠征費を出しています。中学生が市の大会から上がっていくときに遠征費が出るのと同じような対応をしています。

（２）平成２８年度のスケジュールについて

事務局から、全体会議、北相馬地区社会教育振興協議会、県社会教育委員研修、市人権教育研修、いばらき教育の日キャンペーン等の日程を連絡

７ 閉会